

NPO法人場とつながりの研究センター主催

神戸市北区 中学生向け学習支援教室

北神まなびあ

2023年度 活動報告書



急激な物価高騰などにより、経済的に困窮している世帯が増加する中、
家庭の事情で複合的な問題を抱えている子どもたちがいます。
こうした子どもたちへの貧困の連鎖防止のための取り組みとして、
私たちは2023年7月より、中学生を対象とした学習支援事業をスタートさせました。

※本事業は神戸市の補助を受けて実施しています。

学習支援事業の立上げから毎週の運営に至るまで、私たちの活動を支えて下さったみなさまへ、
心より感謝を申し上げますとともに、活動報告をお届けいたします。

目次

学習支援事業の概要・活動の流れ

活動の様子（受講生・ボランティア）

進学や就職のイメージを持ってもらう取り組み

受講生の変化・ボランティアの声

保護者アンケート結果

受講生からのメッセージ

団体概要

学習支援事業の概要

事業名	北神まなびあ
事業内容	経済的な事情等により学習機会を十分に得られていない中学生に、高校受験、進学を目指した学習の場を提供するとともに、大学生や社会人と接することで人生のロールモデルを見つける機会を提供する
実施期間	2023年7月2日～2024年3月31日 学習支援は、毎週日曜日の13:30～16:00に実施
実施場所	北神区文化センター（使えないときは、デイサービス「サニーリハトレセンター」をお借りして実施）
参加者	【受講生】中学生…22名（中3生10名／中2生2名／中1生10名） 【ボランティア】大学生…14名 社会人…8名 【運営スタッフ】1名

学習会開催回数



39回

※3月末日迄予定

受講生参加人数



のべ**424人**

※3月17日現在

ボランティア参加人数



のべ**295人**

※3月17日現在

高校進学人数



10人/10人

活動の流れ（1日の動き）

13:30
～
13:55

毎年話題になるのが、食品ロス・廃棄物

どんなことを知ってる？
どんなことを意識して生活している？

ボランティアさんと話してみよう

今日の目標&ミニクイズ

学習者は教室に到着後「今日の学習記録シート」に、今日学習したいことや今週のできごとを書き、ボランティアさんとのマッチングや雑談に活用します。その後、コーディネーターによる「人生に役立つ?ミニクイズ」を毎回実施。まなびとくらしの融合を目指した話題提供を行います。

13:55
～
16:00

学習支援

今日の目標に書いた取り組む科目と、得意なボランティアをマッチングし、ボランティア1人と中学生2人で実施しました。学習時間は55分×2回とし、間に休憩をとっています。集中力が長続きしにくい学習者には25分ずつ区切るなど、学習者と相談して柔軟に対応しています。

16:00
～
16:45

振り返りミーティング

片付けを学習者と一緒に行った後、ボランティアメンバーで振り返りを行います。個別記録シートに記入をし、全員で書いた内容を中心に振り返りのわかちあいを行っています。特に、学習者がポロっと口にした「つぶやき」を丁寧に拾うことを大切に、記録に残しています。

活動の様子



原則、自分自身がやりたいと持ってきた教科のワークなどに取り組んでいます。



自分の意思を表明することは大切な価値。ボランティアも待ち、気持ちに寄り添います。



もぐもぐタイムは学習への活力!? 休憩時間も大切なコミュニケーションタイムです。



丁寧に学ぶ機会の少ない学習内容に対してボランティアによる特別演習も実施。漢文や英語長文、リスニング、面接練習をしました。



エディック創造学園さんが、3年生進路相談に来てくださりました。保護者が参加しない学習者は、担当ボランティアと一緒に参加。



「これまで3年間にも勉強してこなかった」という強者!? 向けに、ゼロから熱心に学習指導も行いました。

ちょっと特色ある取り組み ~学習者とボランティアとでいっしょに考える



【身近なモノから考える】7/23実施
「暮らし」と「教科」のつながりに気づいてもらうことを目指した話題を提供しました。



【クロスロード】9/3実施
震災に遭遇したときどう行動を取るか、をゲーム形式で考えました。



【トークフォークダンス】10/1実施
学習者とボランティアとが円になり、お題に沿ってフリートーク。交流を深めました。



【都道府県クイズ】夢ゼミ時実施
社会人ゲストの出身地をネタにしたクイズ。社会の用語が「あの人」とつながることで理解を深めることを目的に実施しました。



【アウェアネスマークを知ろう】9/10実施
「ふ」だんの「く」らしを「し」あわせにする福祉への理解を深めるため、身近なマークを題材に考えました。



【入試合格祈念のお守りづくり】2/4実施
ボランティアさん+中学12年生の発案で、高校受験を控えた中学3年生向けにお守りを折り紙で作りました。

進学や就職のイメージを持ってもらう取り組み

月に1回、学習支援の時間を使って企業の社員等に自身のキャリアを語ってもらい、受講生に進学・就職のイメージを持ってもらうことを目的とした取り組みを行っています。IT企業、食品メーカーや設備メーカー、コンサルティング会社など、様々な会社で働いている人の話を聞くことで、働くことの意味や自分の将来について考えるよい機会となりました。

第1回 2023 7/30	深江化成株式会社 技術部生産技術課 上野さま 「高専という選択肢」	第5回 2023 11/26	日本イーライリリー株式会社 人事本部 宮元さま、比嘉さま 「わたしたちが働く会社」
第2回 2023 8/27	株式会社アシックス 秘書部 渉外チーム 粟野さま 「スポーツ用品メーカーの仕事」	第6回 2023 12/17	ハートフード・クリエイツ株式会社 代表取締役 西脇さま 「食で笑顔を届ける」
第3回 2023 9/24	水ing株式会社 尾田さま 「水ingってどんな会社??」	第7回 2024 1/28	株式会社ディ・クリエイト CEO 上西さま 「なぜ、この仕事を選んだのか?」
第4回 2023 10/29	株式会社マルヤナギ小倉屋 Eat More Beans CEO 柳本さま 「食品の値段ってほんとはいくら?」	番外1 2024 3/3	働く＋生きがいについて +teacher代表 渡利さま 「教育に関心ある人がつながり、学習文具を開発するチームづくり」



講師の熱い語り



質疑を通して、より深い理解を目指しました

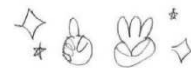
講演を聞いた感想（抜粋）

中学生

僕は話をきいて、夢がこころごとかちっていいのだなと思った。まずい生活だとしても、両親からの愛があることを忘れないでおこうと思った。僕も夢をもって、もっと勉強やスポーツをがんばったり、友達とも仲よく今の生活のためのしもうと思った。

中学生

自分の話をきいて、おれも後悔しては行けずおれも頑張る。私は手に中学でいって今までの後悔がESSEで、それからその後悔がそれとつぎのつぎの後悔を思っている。一業の好きの言葉が「結果は黙るべき」という言葉が自分が頑張れば、頑張れば、何らかの結果がでるから、その結果で自分の今までの後悔を消去すれば自分の好きのつぎのつぎの後悔を思える。私はスポーツに関する仕事にしたいので、スポーツを観ることも好きで自分からそれと好きの言葉に仕事をするのは少し抵抗があって嫌いな言葉で嫌いな言葉で無理だった。嫌いな言葉は、その時でまた立ち向うしかないけれど勇気ももらいました。今日は来ていただきありがとうございました！（中学3年生・ボランティア）



大学生

下水道から水のリサイクルを、海外に頼っていたものを国内で生産できる事業は活発的に行きたいと思いました。私はSDGsに興味があり、大学でもSDGsに関するプロジェクトをやる機会がある中で、持続可能な事業を知ることが興味深かったです。私は、最後の勉強の話を聞いて自分も後悔することがあるので、おれも頑張ります。

受講生の変化

中学3年生 Nさん

日曜日に絶対勉強しないといけない機会があることで、1週間勉強に対して意識を持つことができました。そのため、日曜日は早く起きれるようになった！ 普段、問題を解くときも「まなびあでもっと理解を深めたい問題はあるかな」と自問自答しながら勉強をすることで、問題で疑問に思ったことを書き留めるようになりました。



中学3年生 Oくん（を担当したボランティアさん）

中学1年生から2年間ほとんど授業を聞かなかった彼にとって高校入試に向けて勉強することはかなり難しかったと思います。半年で大きく点数を伸ばすことはできませんでした。一方で半年前では解けなかった数学や英語の基本的な問題を一緒に学ぶ中で勉強へ意識が少し向くようになりました。またその結果として自力で解くことのできる問題も増えてきました。公立入試が終わった直後に数学の問題用紙を送ってきて、自分の解いた問題について採点をお願いしてきたことは成長の表れであると感じました。



ボランティアの声

関西学院大学理工学部 2回生
木村元駿さん

「この事業をやってみて」

この事業はとても価値のあるものである。ボランティアの人にとっても、子どもたちにとっても、交流の場であり、自らを成長に導く場所であるところの一年間で感じた。勉強を教える教えられるという関係だけではなく、ともに問題を解決したり、単純な相談相手、話し相手になったりするだけで、子どもたちにとっての居場所になる貴重な場所である。

そして、私たちの北神まなびあでは、ボランティアはもちろん子どもたちもそして、ボランティアと子どもたちが全員対等な関係であり、学ぶ対象であったと思った。

このような場所は簡単に作ることはできないと思うし、他にない場所であると感じる。



学習者をどうサポートするか、ボランティア同士で議論しました

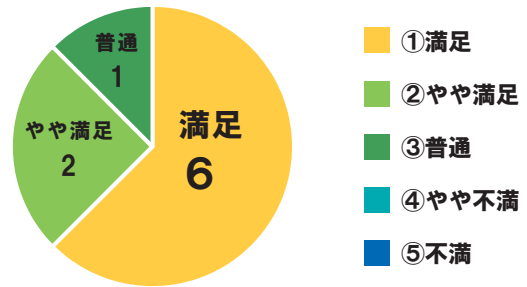
保護者アンケート

※受講生の保護者へのアンケート結果：有効回答数8

Q.学習支援はどのように知りましたか？

①学校からの配信（すぐーる）を見た	3
②学校の先生から教えてもらった	0
③友人・知人から教えてもらった	1
④インターネットで調べた	2
⑤新聞報道などを見た	0
⑥その他	3

Q.学習支援の満足度をお聞かせください



Q.学習会に参加するようになって、学習に関してお子さまに変化があれば教えてください。

※複数回答可

①家で勉強するようになった（勉強する時間が長くなった）	4
②学校のテストの点数が上がった	3
③学校の通知表の評価が上がった	3
④集中力がついた	1
⑤勉強のことを家で話すようになった	3
⑥その他（自由記述）	1
⑦変化はない	1

Q.学習会に参加するようになって、学習以外に関するお子さまに変化があれば教えてください。

※複数回答可

①日常的な会話が増えた	1
②進学や目標など、将来について話すようになった	4
③明るくなった	1
④自信がついた	1
⑤生活習慣が改善された	0
⑥その他（自由記述）	1
⑦変化はない	2

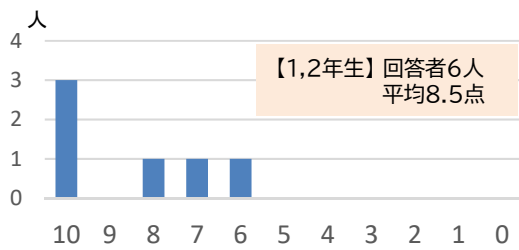
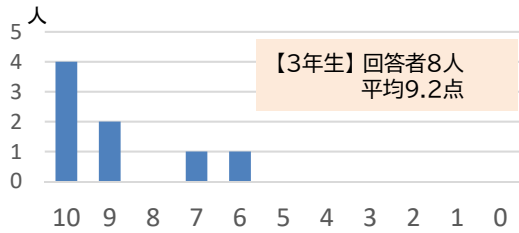
Q.学習会に参加したことで良かったことは何ですか？

- ・ 学習ボランティアの方々とお話しできるのが楽しいみたいです。
- ・ 今回、受験を控え塾に通うか迷っていた時に学習会に参加できたこと、大変ありがたかったです。いろんな年齢層の方とも出会えて、勉強だけではなく、今後の歩み方の色々な知識を得るひとつにもなっていると思います。できることならば、高校に上がってからも参加できる環境があれば嬉しく思います。受験前には金銭的な負担が出ても、もう少し回数があれば良いのになぁ～とは思いました。今後も学習支援事業の継続を望みます。
- ・ 素晴らしい取り組みに参加させていただいて、感謝の気持ちでいっぱいです。成績に反映できていないのが残念ですが…それは本人次第なので致し方ありません。ボランティアの学生さん、社会人の先生方、企業の方々との関わりは、本人に刺激を与えてくれていると感じています。特に、企業の方のお話を振り返って教えてくれるので、親にとっても為になります。本人の興味を掻き立ててくれるお話をもっと聞いてもらえたらと思っています。

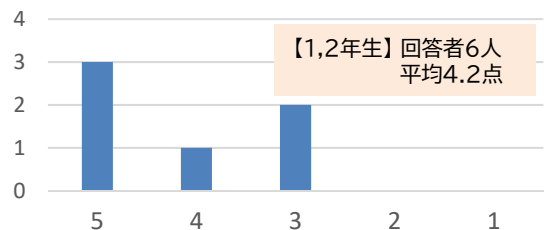
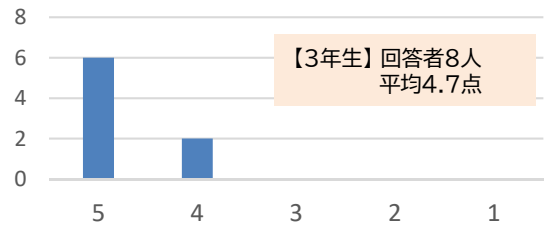
受講生からのメッセージ

回答者14人

Q1. 北神まなびあに参加して、満足していますか？（不満1～10満足）



Q2. "参加して、成長できたと思いますか？（思わない1～5思う）



自由にどうぞ。

高校に入学からは「もっと勉強しておけばよかった」と将来の自分の思わぬように自分のペースで勉強していき、自分にあった勉強の関わり方を見つけて、勉強を「苦」の思わぬようにしていった。

3年生女子

数学の問題がよく分かるようになって、一人でとけるようになって、いるから、3年生になったら、数学の勉強は高校に合格するために受験勉強もがんばります。

2年生女子

ボランティアの方々と、話しながらできることで、楽しめながら勉強できた。それによって、一人で勉強できるのも記憶に残りやすかった。勉強以外にも、雑談もして、良かった。

↑3年生女子

まなびあに来る前はあまり集中して勉強できなかったけど、まなびあに行ったら、少し集中してできるようにって良かったです。

3年生女子

北神まなびあに入って、勉強の時間が増えたり、勉強をしようという意識ができたと思ったり。勉強が楽しくなりました。一度休けいもして、お時間少いから決めた時間で勉強が済みました。

1年生男子

またこういう活動があれば入りたいです。

この活動でしたことかとても勉強になり

クイズもとても楽しかったです。

1年生女子

そのクイズもとても勉強になり

社会人の人たちの話はとても興味深かったです。

あとすしですがよろしくお願ひします。いまでもありがとうございます。

北神まなびあの良いところ

1年生男子

・女子の教科を勉強できる

・学校の宿題などのワークができる

・いつでも教えてもらうことができる

・自分のペースで進められる

・休けい時間のおかしがおいしい

② " 成長できたと思う(思わない1～5 強く思う) → 1

(どんなところが?)
勉強への向き合い、成長を思う

③ " 普段の生活が変わったと思う(思わない1～5 強く思う) → 3

(例えば?)
少し勉強が楽しくなった

④北神まなびあを知人等に勧めたい(勧めない1～5 強く勧めたい) → 3

(以下、自由にどうぞ。書き足りない場合は裏面に)

人様をたいては結構分かりやすく教えてくれるボランティアの先生によるからとてもいいです。

3年生男子

2023年度 本事業にご協力いただいた企業さま
誠にありがとうございました！



日本イーライリー
株式会社



団体概要

組 織 名 称	NPO法人場とつながりの研究センター
代 表 者	理事長 長谷川計二
設 立 年 月 日	2005年7月 (NPO法人化 2006年11月1日)
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動・NPOの立上げ・運営相談支援、活動団体バックオフィスサポート(会計・労務) ・地域つながりづくり(裏六甲子ども・若者の居場所ネットワーク、まちの読書カフェ) ・三田まちの寺子屋「まなびあ」運営、子ども食堂「まかないキッチン」 ・学生のまちづくり活動支援 ・地域における対話のまちづくり「フューチャーセッション」の開催 ・ひとり親をはじめとした母親支援とつながりづくり ・困窮など生きづらさを抱える人を対象とした食料配布会及び相談会 ・地域食料倉庫事業(フードパントリー) ・在住外国人向け地域日本語教室「北神日本語教室」、相談支援 ・調査・研究(居場所研究会、子どもの貧困、ユースワーク、 ・各種講座・交流会・ワークショップの実施 ほか
所 在 地	兵庫県三田市三田町29-14

学生・社会人ボランティア募集中！



●募集対象：大学生・社会人※経験不問

●募集期間：通年

●活動日時：毎週日曜 13:00～16:45

※ボランティア参加は毎週でなくできる範囲で結構です

●謝礼：2,500円/1日(交通費含む)

●申込方法：右上の2次元コードからお申込み下さい



まちに笑顔あふれるつながりをつくる
NPO法人場とつながりの研究センター

【住所】兵庫県三田市三田町29-14 【代表電話】079-553-2521
【お問合せ】電話：090-6505-1935 担当：大島一晃